

財務諸表に対する注記

1、重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
建物及び什器備品・・・定額法によっている。
(2) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	0	0	335,200,568
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	0	0	36,300,000
小 計	371,500,568	0	0	371,500,568
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	7,472,729	1,601,144	0	9,073,873
(2) 俳句資料室事業引当資産	3,950,259	58	100,000	3,850,317
小 計	11,422,988	1,601,202	100,000	12,924,190
合 計	382,923,556	1,601,202	100,000	384,424,758

3、基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	(0)	(335,200,568)	(0)
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	(0)	(36,300,000)	(0)
小 計	371,500,568	(0)	(371,500,568)	(0)
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	9,073,873	(0)	(9,073,873)	(9,073,873)
(2) 俳句資料室事業引当資産	3,850,317	(3,850,317)	(0)	(0)
小 計	12,924,190	(3,850,317)	(9,073,873)	(9,073,873)
合 計	384,424,758	(3,850,317)	(380,574,441)	(9,073,873)

4、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	0	0	0
什器備品	468,701	204,632	264,069
合 計	468,701	204,632	264,069